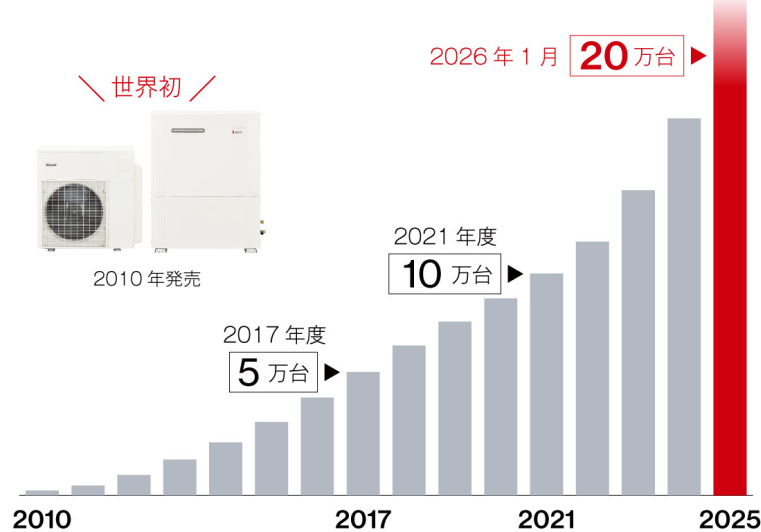


ハイブリッド給湯器の累計出荷台数が 20 万台を突破 CO2 従来比 56%削減 カーボンニュートラルの実現を後押し

リンナイ株式会社(本社:愛知県名古屋市、社長:内藤 弘康)のハイブリッド給湯器の累計出荷台数が、2026 年 1 月に 20 万台を突破しました。

ハイブリッド給湯器の累計出荷台数



省エネ No.1 リンナイのハイブリッド給湯器



ハイブリッド給湯器は、電気ヒートポンプと潜熱回収型ガス給湯器を組み合わせた高効率給湯器です。従来型のガス給湯器と比べて年間の CO2 排出量を 56%削減^{*1}し、家庭のエネルギー消費の 3 割を占める給湯分野の省エネに大きく貢献します。累計 20 万台の年間 CO2 削減量は、小規模な火力発電所 1 基分に相当します。

当社は、2010 年に世界初の家庭用ハイブリッド給湯器を発売^{*2}しました。2015 年頃からは、「ZEH(ゼッチ)」など省エネ住宅への採用が広がりました。さらに、2023 年度に開始した「給湯省エネ補助事業」により既設ガス給湯器の取替えが進み、出荷台数は大幅に増加しています。

2025 年 2 月には、カーボンニュートラル実現に不可欠な再生可能エネルギーの主力電源化を見据え、ハイブリッド給湯器を電力需給の調整力として活用する検証を開始しました^{*3}。

省エネ性能に優れたリンナイのハイブリッド給湯器が、2050 年のカーボンニュートラル実現を後押しします。

《本件のお問い合わせ先》

リンナイ株式会社 営業本部 TEL 052-361-8211(代表)

(注)本資料に記載されている内容は発表日時点の情報です。

ご覧になった時点で、内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

^{*1} 給湯使用時の CO2 排出量。ECO ONE 160L タイプの場合。

^{*2} 進化を遂げた高効率給湯器 世界初ハイブリッド給湯器、誕生！、2010 年 2 月 4 日、<https://www.rinnai.co.jp/releases/2010/0204/>

^{*3} ハイブリッド給湯器の DRready 実証実験を開始、2025 年 2 月 3 日、<https://www.rinnai.co.jp/releases/2025/0203/>

参考情報

■ 省エネ性能に優れたリンナイのハイブリッド給湯器

リンナイのハイブリッド給湯器は、「省エネ大賞」をシリーズ通算 4 回受賞するなど、その省エネ性能が高く評価されています。省エネ No.1^{*4}のリンナイのハイブリッド給湯器が、カーボンニュートラル実現を後押しします。

2010 年	電気ヒートポンプと潜熱回収型ガス給湯器を組み合わせた、世界初の家庭用ハイブリッド給湯器「ECO ONE(エコワン)」を発売。	 
2012 年	エネルギー消費の半分以上を暖房が占める北海道の特性を踏まえ、北海道向けハイブリッド・給湯暖房システムを発売。	 
2012 年	タンク容量を 100L に大型化した「ECO ONE」を発売。 平成 25(2013)年度省エネ大賞・経済産業大臣賞 受賞	 
2015 年	電気ヒートポンプの冷媒に R32 を採用した「ECO ONE」を発売。 平成 28(2016)年度省エネ大賞・省エネルギーセンター会長賞 受賞	 
2017 年	タンク容量を 160L に大型化した「ECO ONE」を発売。インターネット接続による、外出先からの操作に対応。 COOL CHOICE LEADERS AWARD 2018・環境大臣賞 受賞	 
2021 年	北海道向け冷暖房・給湯システムを発売。業界で初めて、温水暖房、冷房、給湯、湯はりを 1 つのシステムで実現。 2021 年度省エネ大賞・省エネルギーセンター会長賞 受賞	 
2022 年	都市部の住宅密集地でも設置しやすい「ECO ONE X5(エコワン・エックスファイブ)」を発売。コンパクトながら、トップクラスの省エネ性を実現。 2022 年度省エネ大賞・資源エネルギー庁長官賞 受賞	
2023 年	既設コンセントに接続可能な「ECO ONE X5 プラグインモデル」を発売。業界初の制御技術により、ヒートポンプ運転時の消費電力を抑制。	

■ 小規模な火力発電所 1 基分の CO2 を削減

ハイブリッド給湯器累計 20 万台の CO2 削減量は、年間 17 万トン^{*5}にのびります。この削減量は、小規模な LNG 火力発電所(出力約 9 万 kW)1 基分に相当します^{*6}。

^{*4} ECO ONE 160L タイプの場合。国立研究開発法人建築研究所(協力:国土交通省国土技術政策総合研究所)による「建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報」で公開されている平成 28 年省エネルギー基準に準拠した「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.3.9.0」(6 地域)による算出(2025 年 1 月現在)。

^{*5} ハイブリッド給湯器の CO2 削減量: ECO ONE 160L タイプの給湯使用時の CO2 削減量より、851kg/1 台とする。

^{*6} LNG 火力発電所の CO2 排出原単位: 0.415kg-CO2/kWh、設備利用率:50%として算出。当社調べ。